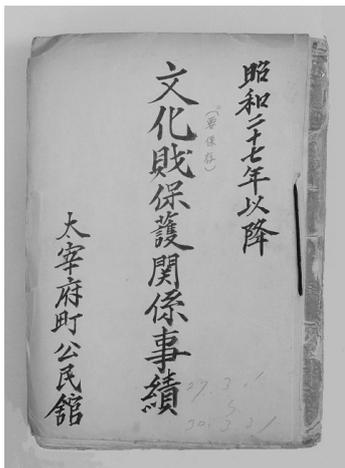


資料目録

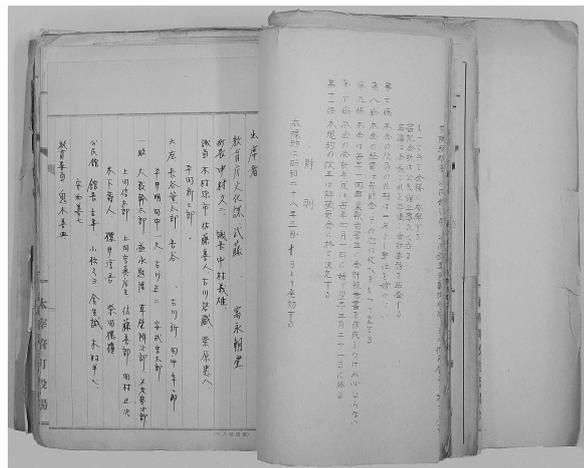
旧社会教育課永年文書細目録 2

【凡例】

1. 本目録は、旧社会教育課で保管され市役所で永年保存とされていた文書の細目録である。
2. 細目録1の編集方針にあわせ、書綴形態の資料（こより紐やステープル等で綴られたもの）も原則として細分化して目録を作成し、一括状況が分かるものについては編綴状態を内容の記載に続いて示した（ただし請求書・領収書等の綴りは細分化せず採録した）。
3. 目録における表記は、一部の固有名詞及び原資料からの引用を除き、原則として新字体を使用し、旧字体・異体字などは適宜改めた。一般的な表記と異なる場合は[マ]とした。また、漢数字は算用数字に改めた。
4. 目録の記載項目は番号、名称、年月日、作成・宛所とした。各項目の詳細については次の通りである。
 - (1) 番号 原則として、資料の秩序に基づき番号を与えた。内容に別紙の表記があるもの及び封筒で一括されていたことが分かるものについては、枝番号を用いて示した。
 - (2) 名称 資料に記載された名称をゴシック体で示した。記載がないものは〔 〕を付して仮題とした。必要な場合は内容や資料の編綴情報等を補足し、明朝体で記した。
 - (3) 年月日 算用数字に改めた。内容から推測できるものについては〔 〕を付した。
 - (4) 作成・宛所 史料の授受関係は矢印「→」を用いて示した。記載は無いが内容から推測できるものは〔 〕を付した。不明の場合は空欄とした。



表紙



大宰府文化財保存顕彰会（仮称）規約（案）
（資料番号2-23）

【解題】

紀要第12号（2018年刊行）に掲載された、「旧社会教育課永年文書細目録1」の続きである。文書群「旧社会教育課永年文書」についてはその概要を紀要12号に掲載しているので詳しくはそちらをご参照いただきたいが、簡単に述べると、「旧社会教育課永年文書」は主に旧太宰府町と水城村の史跡や文化財に関する文書を綴った6点の簿冊から成っており、今回は「昭和二十七年以降 文化財保護関係事績 太宰府町公民館」と書かれた表紙を有する簿冊の細目録を採録した。表紙には他に鉛筆で「(要保存)」、「27.3.1～30.3.31」と記されており、数字は綴られた文書の日付が該当するおおよその期間（実際には昭和27〔1952〕年3月から同30年10月まで）を表している⁽¹⁾。この期間中、昭和25年に制定された文化財保護法は大きな改正が行われており（同29年）、ちょうど文化財保護制度充実の過渡期にあたると言える。

内容について見ていくと、太宰府天満宮の神幸行事の一つである「竹の曲（たけのはやし）」に関しての文書がほとんどである。竹の曲は例年9月の神幸式で奉納される、稚児の舞を中心とした芸能で、天満宮の氏子である「六座」（米屋・金屋・小間物屋・相物屋・紺屋・鍛冶屋の6つの座）と呼ばれた人々により、締太鼓と5つの面（女面2・坊主面1・翁面1・熊坂面1）とともに伝わっている⁽²⁾。昭和35年に福岡県の無形民俗文化財に指定されるまでは選定無形文化財として扱われており、同27年、文部省文化財保護委員において無形文化財として選定を受けた。翌年10月には文化財保護委員会と長崎県教育委員会が主催する「九州地区郷土芸能大会」に六座の子孫たちが出演し奏楽・舞を披露した。この選定を機に旧太宰府町では、文化財に対する住民の保護意識の啓発を図るため「太宰府文化財保存顕彰会」が発足した。発会式の案内等は太宰府町公民館長名で出されており⁽³⁾、公民館を実質的な主体として活動していたことが窺われる。また選定を記念してか、公民館の仲介により5つの面のレプリカ注文販売が行われたようである⁽⁴⁾。

本目録は、元公文書館嘱託であった篠崎将貴が作成したものを再編集した。（担当藤田理子・太宰府市公文書館会計年度任用職員）

註

- (1) なお、旧太宰府町は昭和30年3月1日に水城村と合併し、新太宰府町となる。
- (2) 太宰府市史編さん委員会編『太宰府市史 民俗資料編』（太宰府市、1993年）、太宰府天満宮文化研究所編『太宰府百科事典—太宰府天満宮編—』（太宰府顕彰会、2009年）。
- (3) 資料番号2-18「文化財保護顕彰会（仮称）設立準備会開催について」、2-19「『竹のはやし』を讃える会及び太宰府文化財保存顕彰会発会式開催について」等。
- (4) 資料番号2-68～89。

| 番号 | 名 称 | 年月日 | 作成・宛所 |
|--------|---|-----------------|--|
| 2-1 | 文化財指定に対する調査員派遣方申請について 「竹の嘸[マ] (田楽)」の芸能文化財指定調査、府学第66号、2-1~122は簿冊として綴られる (表紙「昭和二十七年以降 文化財保護関係事績 太宰府町公民館」「(要保存)」「27.3.1~30.3.31)) | 昭和27年3月31日 | 筑紫郡太宰府町長 中村久二→教育長社会教育課長殿 |
| 2-2 | 竹の嘸[マ]調査について 4月7日午前11時到着調査予定、27教文号外 | 昭和27年4月3日 | 福岡県教育庁文化課長 (公印) →太宰府町長殿 |
| 2-3 | 郷土芸能について 「竹のはやし」につき文化財保護委員で助成すべき郷土芸能として選定されたため、調査要項記入の依頼、27教文第233号 | 昭和27年6月13日 | 福岡県教育長 中尾荘兵衛 (公印) →筑紫郡太宰府町長殿 |
| 2-4 | 郷土芸能について 6月13日付27教文第233号照会の「竹のはやし」につき回答、「竹曲」「装束」「竹曲舞踏廻略図」「扇舞踏廻略図」添付 | 昭和27年6月27日 | 太宰府町長 中村久二 (公印) →福岡県教育長殿 |
| 2-5 | 月刊 太宰府 第5号 「天満宮神幸祭 竹の嘸[マ]の起源」等 | 昭和26年11月15日 | 発行 太宰府文化会 |
| 2-6 | 無形文化財の選定について 「竹のはやし」他2件を文化財保護法第67条該当の無形文化財に選定、27教文第272号 | 昭和27年7月3日 | 福岡県教育委員会 教育長 中尾荘兵衛 (公印) →筑紫郡太宰府町長殿 |
| 2-7 | 郷土芸能について 6月13日付27教文第233号照会の「竹のはやし」についての調査報告を2通提出の旨 | 昭和27年9月5日 | 福岡県教育庁文化課 (公印) →筑紫郡太宰府町長殿 |
| 2-8 | 郷土芸能について 6月13日付教文第233号照会の報告は2通必要の旨 | 昭和27年9月18日 | 福岡県教育庁文化課→筑紫郡太宰府町長 中村久二殿 |
| 2-9 | 郷土芸能紹介大会について 9月25日付福岡県観光連盟会長名で既に出場依頼の件は第3回福岡県芸術祭の行事として開催、無形文化財審査委員も出席につき参加を、27教文号外 | 昭和27年9 [10ヵ]月9日 | 福岡県教育庁文化課長 (公印) →太宰府町長殿 |
| 2-10 | 郷土芸能について 「竹のはやし」の回答書不足分送付の依頼 | [昭和27年] 10月24日 | 県文化課→太宰府町長 中村久二様 |
| 2-11 | 郷土芸能について 6月13日付27教文第233号照会の「竹のはやし」につき回答、控 | 昭和27年6月27日 | 太宰府町長 中村久二 (公印) →福岡県教育長殿 |
| 2-12 | 無形文化財指定 太宰府天満宮・竹曲 NHK録音放送を機に下浦臻先生原稿をプリントした「竹曲」解説書 | [昭和27年] | 川井清敏 |
| 2-13 | ラヂオ放送 昭和7~15年の太宰府の文化に関連する放送 (太宰府詣で・配所の菅公・竹曲の由来・九州古舞踊大会実況) | [昭和27年] | |
| 2-14-1 | 助成すべき無形文化財選定の通知書について 「竹のはやし」選定通知書交付の件 | 昭和27年11月25日 | 福岡県教育委員会 教育長 中尾荘兵衛 (公印) →筑紫郡太宰府町教育委員会殿 |
| 2-14-2 | 通知書 助成すべき無形文化財として「竹のはやし」を選定、文委無第11号、2-14-1の別紙 | 昭和27年10月29日 | 文化財保護委員会 委員長 高橋誠一郎 (公印) |
| 2-15 | 竹のはやし写真送付方について 「竹のはやし」写真2枚送付依頼、28教文号外 | [昭和28年] | 福岡県教育庁文化課 (公印) →太宰府町長殿 |
| 2-16 | 無形文化財に対する補助金交付申請書 「竹のはやし」保存経費必要につき補助金交付申請、「竹のはやし 保存経費内訳」添付 | 昭和28年3月 日 | 福岡県筑紫郡太宰府町教育委員会 教育長 木村善次郎→文化財保護委員会委員長 高橋誠一郎殿 |
| 2-17-1 | 無形文化財補助申請書の進達方依頼について 11月25日付27教文第407号通知「竹のはやし」保存につき多額の経費等を要するため、別紙申請書を提出、府教公第80号 | 昭和28年3月23日 | 筑紫郡太宰府町教育委員会 教育長 木村善次郎→福岡県教育長 中尾荘兵衛殿 |
| 2-17-2 | 無形文化財に対する補助金交付申請書 昭和27年10月29日付文委無第11号通知「竹のはやし」保存につき経費が必要だが文化財所有者での負担に堪えず申請、府教公第79号、2-17-1の別紙 | 昭和28年3月23日 | 福岡県筑紫郡太宰府町教育委員会 教育長 木村善次郎→文化財保護委員会委員長 高橋誠一郎殿 |
| 2-18 | 文化財保護[マ]顕彰会 (仮称) 設立準備会開催について 第1回設立準備会の案内、府教公第96号、「教育長・館長・宮司・長谷薫太郎・古川啓蔵・山内興隆・佐藤善人」の名あり、同内容の写あり | 昭和28年4月21日 | 太宰府町公民館長 有吉林之助 (公印) |
| 2-19 | 「竹のはやし」を讀める会及び太宰府文化財保存顕彰会発会式開催について 5月10日開催につき通知、府教公第111号、「御案内」添付 | 昭和28年5月5日 | 太宰府町公民館長 有吉林之助・太宰府文化財保存顕彰会発起人一同→町民各位殿 |
| 2-20 | 太宰府文化財保存顕彰会 (仮称) 規約案 | [昭和28年] | |
| 2-21 | 無形文化財「竹のはやし」をたゝふるの会兼太宰府文化財保存顕彰会発会式 式次第案 | [昭和28年] | |
| 2-22 | 太宰府文化財保護[マ]顕彰会 (仮称) 設立準備会開催について 4月21日開催顕彰会設立準備会の案内、府教公第103号 | 昭和28年4月26日 | 太宰府町公民館長 有吉林之助 (公印)・太宰府文化財保護[マ]顕彰会発起人一同→殿 |
| 2-23 | 太宰府文化財保存顕彰会 (仮称) 規約 (案) | [昭和28年] | |

| | | | |
|------|---|--------------|--|
| 2-24 | 〔覚〕 顕彰会関係会議出席者カ | 〔昭和28年〕 | |
| 2-25 | 「竹のはやし」を讚える会及び太宰府文化財保存顕彰会発会式開催について 5月10日開催につき通知、府教公第111号、町内回覧、「御案内」添付 | 昭和28年5月5日 | 太宰府町公民館長 有吉林之助・太宰府文化財保存顕彰会発起人一同→町民各位殿 |
| 2-26 | 〔覚〕 案内状送付先一覧カ(富永朝堂・木村明敏等の名あり) | 〔昭和28年〕 | |
| 2-27 | 講師派遣方申請について 5月10日開催の「太宰府文化財保存顕彰会」及び「竹のはやし」を讚える会において、後者での講師派遣依頼雛型、府教公第112号 | 昭和28年5月7日 | 太宰府町教育長 梅津弘美・太宰府町公民館長 有吉林之助→福岡県教育委員会教育長殿 |
| 2-28 | 太宰府文化財保存顕彰会発会式 記録 「太宰府文化財保存顕彰会規約(案)」・「出席者」・「竹のはやし」を讚える会記録 「太宰府文化財保存顕彰会役員(案)」添付 | 〔昭和28年5月10日〕 | |
| 2-29 | 予約申込書 教育庁文化課編『福岡県文化財解説 史跡篇』他2冊申込、刊行案内添付 | 昭和28年5月15日 | 福岡県筑紫郡太宰府町 太宰府町公民館長 有吉林之助→福岡市赤坂門 教育庁文化課宛 |
| 2-30 | 優良公民館の活動状況資料蒐集について照会 朝日新聞社より「週刊朝日」を通して「竹の林」無形文化財保存につき活動現況照会の件、府教公第243号 | 昭和28年6月10日 | 太宰府町教育委員会 教育長 梅津弘美(公印)→太宰府町公民館長殿 |
| 2-31 | 優良公民館の活動状況資料蒐集について回答 6月6日付28教社第150号照会・公民館の「竹のはやし」無形文化財保存について、府教公第133号、控、別紙「公民館の『竹のはやし』無形文化財の保存について」添付 | 昭和28年6月16日 | 太宰府町教育委員会教育長 梅津弘美・太宰府町公民館長 有吉林之助→福岡県教育委員会教育長殿 |
| 2-32 | 豪雨被害状況調査について 指定物件の被害状況照会 | 昭和28年6月29日 | 福岡県教育委員会教育長 中尾莊兵衛→国宝、重要文化財、重要美術品、史跡、名勝、天然記念物所有者、管理者殿 |
| 2-33 | 郷土芸能の映画による記録製作について 選定された郷土芸能の保存助成方策の一環として記録映画の製作を勧奨するため国庫補助実施の件、28教文第266号 | 昭和28年7月16日 | 福岡県教育委員会教育長(公印)→太宰府町長殿 |
| 2-34 | 第一回理事会開催について 「竹のはやし」協議のため理事会開催につき案内 | 昭和28年9月30日 | 太宰府文化財保存顕彰会 会長 中村久二→理事 殿 |
| 2-35 | 文部省選定 無形文化財 太宰府天満宮 竹の曲解説 解説書案 | 〔昭和28年〕 | |
| 2-36 | 九州地区郷土芸能大会開催について 大会参加準備依頼、2-36～53は一綴り(表紙「無形文化財『竹のはやし』九州地区郷土芸能大会出演記録 昭和二十八年十月六日 於長崎市三菱会館)、28教文第379号 | 昭和28年9月21日 | 福岡県教育委員会教育長(公印)→太宰府町教育委員会教育長殿 |
| 2-37 | 選定無形文化財「竹ノ曲」実視について 技師筑紫豊9月24日出張の件、28教文第380号 | 昭和28年9月21日 | 福岡県教育庁文化課長(公印)→太宰府町公民館長 有吉林之助殿 |
| 2-38 | 「竹のはやし」実地視察 記録 教育庁文化課員技師筑紫豊視察記録 | 〔昭和28年9月24日〕 | 〔太宰府町役場〕 |
| 2-39 | 「竹のはやし」打合会について 九州地区郷土芸能大会出場準備につき、府教公第199号、出席者書込あり | 昭和28年9月26日 | 公民館長 有吉林之助(公印)→殿 |
| 2-40 | 「竹のはやし」打合会 記録 九州地区郷土芸能大会出場準備 | 〔昭和28年9月26日〕 | 〔太宰府町役場〕 |
| 2-41 | 九州地区郷土芸能大会開催について 大会参加に関する事項につき神社及び「竹ノ曲」代表者へ連絡依頼、28教文第379号 | 昭和28年9月26日 | 福岡県教育庁文化課長(公印)→太宰府町教育委員会教育長殿 |
| 2-42 | 「竹のはやし」九州地区郷土芸能大会出場について 「竹のはやし」が無形文化財として県を代表し大会に出場の知らせと、西正寺において練習開始につき協力・後援の願い、府教公第202号 | 昭和28年9月29日 | 太宰府町公民館長 有吉林之助→町民各位殿 |
| 2-43 | 九州地区郷土芸能大会開催について 「竹ノ曲」舞台装置のための五色ばた・越天楽レコード持参の依頼、28教文第379号 | 昭和28年10月2日 | 福岡県教育庁文化課長(公印)→太宰府町教育委員会教育長殿 |
| 2-44 | 出演計画 出演者内訳と出演順序 | 〔昭和28年〕 | 〔太宰府町役場〕 |
| 2-45 | 九州地区郷土芸能大会プログラム 昼・夜の部 | 〔昭和28年〕 | |
| 2-46 | 文部省選定 無形文化財 太宰府天満宮 竹の曲 解説書 | 〔昭和28年〕 | |
| 2-47 | 九州地区郷土芸能大会目録 竹の曲他、高千穂夜神楽等紹介、昭和28年10月6日開催の大会目録 | 〔昭和28年〕 | 文化財保護委員会・九州各県教育委員会 |
| 2-48 | 九州地区芸能大会開催について 「竹ノ曲」大会出演につき礼 | 昭和28年10月8日 | 福岡県教育庁文化課長(公印)→太宰府町教育委員会教育長・同公民館長殿 |

| | | | |
|--------|--|---------------|--|
| 2-72 | 〔葉書〕 過日來の六座の面の件その後につき伺い | 〔昭和28年〕5月14日 | 津屋崎東町 垣内敬一→筑紫郡太宰府町 佐藤善人様 |
| 2-73 | 〔葉書〕 能面の件來る26日に完成の旨通知 | 〔昭和28年〕7月24日 | 津屋崎町 垣内敬一→筑紫郡太宰府町 佐藤義人殿 |
| 2-74 | 〔書簡〕 竹のはやしの能面の件は一応の精算を済ませたが、注文の訂正を依頼 | 昭和28年8月17日 | 太宰府町公民館 主事 佐藤勝富 |
| 2-75 | 〔葉書〕 注文の能面20個完成につき大和屋まで持参の件 | 〔昭和28年8月26日〕 | 津屋崎東町 垣内敬一→筑紫郡太宰府町太宰府公民館主事 佐藤勝富様 |
| 2-76 | 能面代金計算書 能面20個代金及び佐藤善人氏分精算 | 〔昭和28年〕 | |
| 2-77 | 〔竹のはやし〕の能面領布について 公民館へ現金引換で能面の受け取りの件通知、号外 | 昭和28年9月3日 | 公民館長 有吉林之助→殿 |
| 2-78 | 〔葉書〕 御面代金至急送金の願い | 〔昭和28年9月4日〕 | 宗像郡津屋崎町 垣内敬一→筑紫郡太宰府町 太宰府町公民館 主事 佐藤勝富殿 |
| 2-79 | 〔葉書〕 御面代4800円何卒至急送金の願い | 〔昭和28年9月8日〕 | 宗像郡津屋崎東町 垣内敬一→筑紫郡太宰府町 太宰府町公民館 主事 佐藤勝富様 |
| 2-80 | 能面代金送付について 送金遅延の詫びと現金送付の件、府教公第190号 | 昭和28年9月15日 | 太宰府町公民館主事 佐藤勝富→垣内敬一殿 |
| 2-81-1 | 〔書簡〕 能面代金受領の件 | 〔昭和28年〕9月18日 | 垣内→主事 佐藤様 |
| 2-81-2 | 領収書 能面代及び送料 | 〔昭和〕28年9月17日 | 垣内（朱印）→主事 佐藤様 |
| 2-82 | 〔竹のはやし〕能面代金の請求について 能面複製品1組の代金を公民館へ払い込みの依頼、号外、控 | 昭和28年10月15日 | 太宰府町公民館長 有吉林之助→中川漸・木下壽人殿 |
| 2-83 | 〔竹のはやし〕能面注文について 能面作成方依頼、府教公第212号、控 | 昭和28年10月15日 | 太宰府町公民館長 有吉林之助→垣内敬一殿 |
| 2-84 | 〔葉書〕 能面10個受注の件と、多忙につき来月まで猶予の願い | 〔昭和28年10月20日〕 | 津屋崎東町 垣内敬一→筑紫郡太宰府町 太宰府町公民館長 有吉林之助殿 |
| 2-85 | 〔葉書〕 能面完成の通知 | 〔昭和28年〕11月2日 | 宗像郡津屋崎東町 垣内敬一→筑紫郡太宰府町 太宰府町公民館長 有吉林之助殿 |
| 2-86 | 〔葉書〕 先日通知の能面10個につき受渡方法の伺い | 〔昭和28年11月10日〕 | 宗像郡津屋崎東町 垣内敬一→筑紫郡太宰府町 太宰府町公民館長殿 |
| 2-87 | 領収書 能面代金 | 〔昭和〕28年11月14日 | 垣内→太宰府公民館長殿 |
| 2-88 | 〔竹のはやし〕能面代金について 能面複製品1組の代金を公民館へ払い込みの依頼、号外 | 昭和28年12月15日 | 太宰府町公民館長 有吉林之助→座親幸三郎・長谷薫太郎殿 |
| 2-89 | 昭和28年度能面領布代金清算書 収入の部・着色15個分等、支出の部・元型製造費等 | 昭和29年5月20日 | 公民館主事 佐藤勝富（朱印）→公民館長殿 |
| 2-90 | 〔葉書〕 『幕末維新運動に於ける測上兄弟（郁太郎・謙三）』の刊行案内 | 〔昭和29年10月11日〕 | 福岡県筑後市水田 筑後郷土史研究会→筑紫郡太宰府町 公民館長殿 |
| 2-91 | 函書申込みについて 『幕末維新運動に於ける測上兄弟』2冊申し込み、府公第169号 | 昭和29年10月20日 | 筑紫郡太宰府町公民館長 有吉林之助→筑後郷土史研究会会長殿 |
| 2-92 | 第4回福岡県郷土芸能大会出演依頼について 「竹の曲」上演の予定につき参加協力の依頼、「第四回郷土芸能大会（案）」添付 | 昭和29年9月15日 | 福岡県観光連盟 会長 内本浩亮（公印）→太宰府町長殿 |
| 2-93 | 第4回福岡県郷土芸能大会出演について 「竹の曲」出演承諾の件、府庶第337号 | 昭和29年9月22日 | 太宰府町長 中村久二→福岡県観光連盟 会長 内本浩亮殿 |
| 2-94 | 〔照会〕 放送並びに録音、解説書作成上必要につき大至急竹の曲由来等回答の依頼 | 〔昭和29年〕9月25日夜 | 小倉市民芸能大会放送係 大隈岩雄（朱印）→大[マ]宰府天満宮内竹の曲係様 |
| 2-95 | 竹曲の資料送付について 9月25日付照会の件につき回答 | 昭和29年9月29日 | 太宰府文化財保存顕彰会事務局→大隈岩雄 |
| 2-96 | 第4回福岡県郷土芸能大会 プログラム（出演：太宰府天満宮竹の曲・大江天満宮幸若舞等） | 昭和29年10月2日 | 主催 小倉市・福岡県観光連盟・NHK小倉放送局 |
| 2-97 | 第4回福岡県郷土芸能大会出演経費清算書 収支計算 | 昭和29年10月4日 | 公民館 佐藤勝富（朱印）→殿 |
| 2-98 | 第4回福岡県郷土芸能大会について 雨天にもかかわらず遠路参加の礼 | 昭和29年10月6日 | 小倉市長 浜田良祐（公印）→顕彰会事務局殿 |

| | | | |
|---------|--|---------------|---|
| 2-99-1 | 〔照会〕 全国の選定無形文化財の解説書作成のため県へ別紙照会中なるも報告ないため、貴社「竹のはやし」につき教示を依頼 | 昭和29年10月12日 | 運輸大臣官房観光部業務課編纂係 →太宰府天満宮社務所御中 |
| 2-99-2 | 選定無形文化財に関する照会について 観光資源要覧第二篇として無形文化財を採録予定のため、貴県の選定無形文化財について報告の願い、写、観業第221号、2-99-1の別紙 | 昭和29年7月3日 | 運輸大臣官房 観光部長（公印抹消） → 殿 |
| 2-100 | 無形文化財について 10月2日付太宰府天満宮宛照会「竹のはやし」につき回答、29府公第166号 | 昭和29年10月18日 | 太宰府文化財保存顕彰会長 中村久二 →運輸大臣官房観光部 業務課編纂係殿 |
| 2-101-1 | 竹のはやし 記録編輯協力御願ひ 大会参加の礼と、「記録」にとどめたいため別紙に必要事項記入の上返送の依頼 | 昭和29年10月20日 | 第4回福岡県芸能大会委員 放送兼編輯係 大隈岩雄 →太宰府天満宮殿 |
| 2-101-2 | 回答書 出演役割表、2-101-1の別紙 | 〔昭和29年10月〕 | |
| 2-102 | 小倉まつり曆編輯について 小倉まつり曆書き換え及び追加のため別紙記入の依頼、別紙添付（未使用） | 昭和29年10月20日 | 小倉郷土会同人 大隈岩雄 →天満宮々司様 |
| 2-103 | 「竹のはやし」記録並に天満宮資料送付について 別紙資料送付の件、府公第172号、別紙「『竹のはやし』回答書」・太宰府天満宮祭日回答添付 | 昭和29年10月27日 | 太宰府文化財保存顕彰会 会長 中村久二 →第4回福岡県芸能大会委員 大隈岩雄殿 |
| 2-104 | 文化財保護週間の実施について 11月1日～7日を文化財保護週間として文化財保護思想の普及徹底を期す件、29教社第833号 | 昭和29年10月27日 | 福岡県教育委員会教育長 →太宰府教育長殿 |
| 2-105 | 〔葉書〕 昨夏の水害その他の事故で福岡県文化財解説書史跡篇の刊行が遅延、今後の刊行予定を通知 | 昭和29年10月 日 | 福岡市大名町 福岡県教育庁教務部社会教育課（係）波多江一俊 →筑紫郡太宰府町 太宰府町公民館長殿 |
| 2-106 | 郷土芸能の奉納または公開について 今年中の実施計画につき連絡の願い、30教社第32号 | 昭和30年1月12日 | 福岡県教育庁教務部社会教育課長 →国および県指定各郷土芸能管理者殿 |
| 2-107 | 郷土芸能の奉納公開に関する報告について 1月12日付30教社第32号照会につき別紙回答、府公第221号、別紙「芸能名（竹の曲）」・「文部省選定 無形文化財 太宰府天満宮 竹の曲解説書」添付 | 昭和30年1月19日 | 太宰府町教育委員会 教育長 益永尙隆 →県教育庁教務部社会教育課長殿 |
| 2-108-1 | 博物館相当施設の指定並びに取消について 文部省告示第4号、府教第2号、2-108-1～-108-3は一綴り | 昭和30年3月2日 | 太宰府町教育委員会（公印） →公民館長殿 |
| 2-108-2 | 〔文部省告示写〕 文部省告示第4号・博物館相当施設の指定取消（太宰府神社宝物殿・菅公歴史館・志賀島水族館）と文部省告示第5号・博物館相当施設の指定（福岡市動物園） | 昭和30年2月9日、10日 | 文部大臣 安藤正純 |
| 2-108-3 | 博物館法附則第4項及び第6項の規定に基く博物館相当施設の指定並びに従来の博物館相当施設指定の取消について 指定及び取消につき関係機関へ周知の願い（取消の理由等あり）、文社施第32号、写 | 昭和30年2月10日 | 文部省社会教育局長 寺中作雄 →都道府県教育委員会殿 |
| 2-109 | 「日本文化財」購読推奨について 刊行案内及び購読依頼、30教社第234号、申込期限案内・創刊号案内添付 | 昭和30年3月11日 | 福岡県教育委員会教育長 →各市町村教育委員会教育庁[マ]・各高等学校々長・各公民館長 図書館長殿 |
| 2-110-1 | 「竹の曲」について 新町長谷薫太郎氏より連絡で、浜田市下浦臻氏から六座に関し調査報告方依頼の件 | 〔昭和30年3月29日〕 | |
| 2-110-2 | 〔書簡〕 「竹の曲」について調査報告、2-110-1の回答 | 〔昭和30年〕4月15日 | 太宰府町公民館 主事 佐藤勝富 →下浦臻殿 |
| 2-111 | 〔淵[マ]上兄弟〕代金送付について 10冊代金を為替同封で送付の件、府公第24号、控 | 昭和30年4月27日 | 太宰府町公民館長 益永尙隆 →筑後郷土史研究会 坂本友藏殿 |
| 2-112 | 〔葉書〕 回答の礼と、地元の保存熱の高まりに対する期待 | 〔昭和30年4月20日〕 | 浜田市松原町二六〇 下浦臻 →福岡県太宰府町公民館 佐藤主事様 |
| 2-113 | 〔礼状〕 筑後郷土史研究会による『淵[マ]上兄弟』刊行に際し遺族の一員として御礼申し上げる | 昭和30年4月 日 | 東京都杉並区松庵北町一四三番地 淵[マ]上土龍 → 殿 |
| 2-114 | 淵上兄弟代金領収の件 10冊代金領収 | 昭和30年4月29日 | 福岡県筑後市水田公民館内 筑後郷土史研究会 下川秀樹 →太宰府町公民館長 益永尙隆殿 |
| 2-115 | 〔幕末維新運動に於ける淵[マ]上兄弟〕刊行趣意書 | 昭和29年5月 | 福岡県筑後市水田公民館内 筑後郷土史研究会 下川秀樹 他9名 |
| 2-116 | 水田の山樞窩を中心とせる筑後の維新之志士 関係志士略歴一覽、2-62と同内容 | 昭和28年4月 | 福岡県八女郡水田村 筑後郷土史研究会 坂本友藏 |
| 2-117 | 昭和30年10月18日 県主催、大牟田市に於ける芸能大会 竹の曲出張 収支計算書 | 昭和30年11月4日 | 竹の曲六座員 長谷薫太郎（朱印） →太宰府町公民館長殿 |
| 2-118 | 第5回福岡県郷土芸能大会 大会プログラム（場所 大牟田市民会館） | 昭和30年10月18日 | 主催 福岡県観光連盟・大牟田市・大牟田商工会議所・大牟田観光協会 |

| | | | |
|-------|-------------------------------------|------------|---------------------------------|
| 2-119 | 【祝儀袋】 上書「薄謝」 | 〔昭和30年〕 | 第5回福岡県郷土芸能大会→竹の曲御一同殿 |
| 2-120 | 竹の曲大牟田出張諸費支払書 領収書（清酒肴代・梅ヶ枝餅代）添付 | 〔昭和30年10月〕 | 竹の曲出張代表 杉田宗利（朱印） |
| 2-121 | 第5回福岡県郷土芸能大会順序 大会式次第・出演順序等 | 〔昭和30年10月〕 | 〔福岡県観光連盟・大牟田市・大牟田商工会議所・大牟田観光協会〕 |
| 2-122 | 第5回福岡県郷土芸能大会 大会ポスター | 〔昭和30年10月〕 | 〔福岡県観光連盟・大牟田市・大牟田商工会議所・大牟田観光協会〕 |
| 2-123 | 【工事図面】 地盤工事（第1～3号）、2-68の1～2枚目間に挟み込み | | |